

建築士取得で
人生が変わる！

建築業界に進むなら、今がチャンス

一級建築士は4大資格の一つ。

4大資格とは医師免許・弁護士・公認会計士・一級建築士。

医師免許を取るには大学の医学部に入学します。弁護士・公認会計士を取るにはそれに強い大学の法学部・経営学部に入学します。

では、一級建築士を取るには？在学中に合格できる唯一の学校、京都建築大学校への入学が近道となるでしょう。

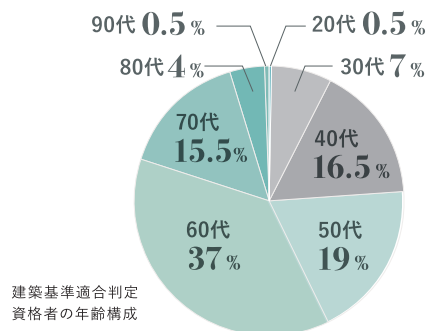
2020年建築士法が改正され、これまでは建築系の大学・専門学校を卒業して2～4年の実務経験を経てからでないと一級建築士の受験が出来ませんでしたが、卒業後すぐに受験ができるようになり、合格後に2～4年の実務経験を経ることで登録できるようになりました。

グループ校の京都美術工芸大学大学院では2年間在籍で実務経験となります。

卒業時には免許登録が可能です。

現在、一級建築士は50歳代以上が76%を占めており、今後は減少していく傾向になると予想されます。そのため、一級建築士不足が懸念され、20歳代の若い一級建築士は、社会・企業から求められる、非常に数少ない貴重な存在です。

まさに、今がチャンスです。



本校では最短で21歳の在学中の一級建築士合格を目指すカリキュラムを早期に整え、一昨年は学科で4名・製図で1名、昨年は学科で17名・製図で6名の合格者を輩出してきました。

今年度はさらに合格者が増えるよう、エキスパートコースを設置するなどの対策を講じています。

早期に一級建築士合格を可能にしたのは、一級建築士試験の範囲が二級建築士で勉強する内容で60%～70%が占められているからで、本校が33年間二級建築士取得一筋に取り組んだことが実を結んだ結果です。

建設業界では建築士のいない業者は建設業の許可は下りません。公共工事入札においては、建物の規模により一定の建築士の人数が必要です。このように建築士は建設業界においては無くてはならない人財です。

そしてKASDでは、建築士資格だけでなく大卒学歴も手にした上での卒業が可能。

将来建築士で活躍したい高校生の皆さん、勇気をもってKASDに飛び込んでみませんか！

SUPER COLLEGE
KASD

学校法人 二本松学院

京都建築大学校

